

# 血液・腫瘍内科学

責任者：石田 陽治 教授

## 一般目標(GIO):

血液疾患患者に対し、血液疾患および全身の問題点を把握し、適切に解決するための基本となる診断法および治療法とその原理を正しく理解し、個々の病態にそくした対応を修得する。

## 行動目標(SBOs):

1. 患者さんと医療面接・診察を行い、病歴・身体所見をカルテに記載する。
2. 面接と診察から得られた情報に基づいて、患者の状態を説明し、検査計画をたてる。
3. 血液・生化学検査を説明する。
4. 骨髄・画像所見を説明する。
5. 上記の情報に基づき、患者の病態を説明する。
6. EBMに基づいた治療方針をたてる。
7. 末梢血および骨髄塗抹標本作製を行い、血球形態を理解し、診断する。
8. 造血器悪性疾患による抗腫瘍化学療法施行中の患者さんについて、適切な補助療法を行う。
9. 幹細胞移植の適応・方法を知る。

## 特に留意すべき注意事項:

1. 患者さんに接する際には、感染予防のため、手洗いを励行し、マスクをする。
2. 主治医としての自覚を持って、毎日患者を診察する。異常所見を認めた場合には担当医に速やかに連絡する。

## 第5学年臨床実習スケジュール [血液・腫瘍内科学]

[第1週]

指導医師名：①石田陽治教授 ②伊藤薫樹准教授 ③小宅達郎助教 ④青木有正助教 ⑤古和田周吾助教 ⑥藤島行輝助教

曜	1時限	2時限	3時限	4時限
月	オリエンテーション	外来実習、BST	BST、ミニレクチャー	BST・チームミーティング
[場 所]	[医局]	[外来、中7F病棟]	[中7F病棟]	[中7F病棟、中7Fゼミ室]
[指導医]	⑤	①③④⑤⑥	④⑤⑥	④⑤⑥
火	抄読会	総回診	ミニレクチャー	BST
[場 所]	[中7Fゼミ室]	[中7Fゼミ室]	[中7Fゼミ室]	[中7F病棟]
[指導医]	①	①②	③④⑤⑥	④⑤⑥
水	BST	BST	BST	BST
[場 所]	[中7F病棟]	[中7F病棟]	[中7F病棟]	[中7F病棟]
[指導医]	②④	②④	④⑤	④⑤
木	外来実習、BST	外来実習、BST	BST、ミニレクチャー	標本検討会、BST
[場 所]	[外来、中7F病棟]	[外来、中7F病棟]	[外来、中7F病棟]	[外来、中7F病棟]
[指導医]	①②③⑤⑥	①②③⑤⑥	⑤	①②③④⑤⑥
金	外来実習、BST	外来実習、BST	ミニレクチャー	BST
[場 所]	[外来、中7F病棟]	[外来、中7F病棟]	[中7Fゼミ室]	[中7F病棟]
[指導医]	①②③④⑤⑥	①②③④⑤⑥	③	④⑤⑥

[第2週]

指導医師名：①石田陽治教授 ②伊藤薫樹准教授 ③小宅達郎助教 ④青木有正助教 ⑤古和田周吾助教 ⑥藤島行輝助教

曜	1 時限	2 時限	3 時限	4 時限
月	外来実習、BST [場 所] [外来、中 7F 病棟] [指導医] ①③④⑤⑥	外来実習、BST [外来、中 7F 病棟] ①③④⑤⑥	ミニレクチャー [中 7F ゼミ室][血液検査室] ③	BST・チームミーティング [中 7F 病棟、中 7F ゼミ室] ④⑤⑥
火	抄読会 [中 7F ゼミ室] [指導医] ①	総回診 [中 7F ゼミ室] ①②	ミニレクチャー [中 7F ゼミ室] ①②③⑤	BST [中 7F 病棟] ④⑤⑥
水	BST [中 7F 病棟] [指導医] ②④	BST [中 7F 病棟] ②④	BST [中 7F ゼミ室] ④⑤	BST [中 7F 病棟] ④⑤
木	外来実習、BST [外来、中 7F 病棟] [指導医] ①②③⑤⑥	外来実習、BST [外来、中 7F 病棟] ①②③⑤⑥	ミニレクチャー、口頭試問 [中 7F ゼミ室] ①②③⑤	標本検討会、BST [中 7F 病棟] ①②③④⑤⑥
金	外来実習、BST [外来、中 7F 病棟] [指導医] ①②③④⑤⑥	外来実習、BST [外来、中 7F 病棟] ①②③④⑤⑥	ミニレクチャー [中 7F 病棟] ②	BST [中 7F ゼミ室] ④⑤⑥

## 授業に使用する機械・器具と使用目的

使用区分	使用機器・器具等の名称	台数	使用目的
診断用機械	心・腹部超音波検査装置	1台	患者の評価に使用する。
診断用機械	骨髄穿刺針	5本	骨髄検査に使用する。
診断用機械	ライト液・ギムザ液	各1本	標本の染色に使用する。
実習用機械	骨髄塗抹標本	20枚	標本実習に使用する。
実習用機械	スライドガラス	1箱	末梢血実習に使用する。
視聴覚用機械	マルチディスク顕微鏡	1台	血液標本を同時に観察する。
視聴覚用機械	ノート型PC(I-Book G3)	1台	臨床実習における講義に使用する。
視聴覚用機械	デジタルカメラシステム(PixeraPro150ssPro150ss)	1台	臨床実習における症例検討
その他	パソコン(I-mac17インチ1.83GhzIntelCoreDuo)	1台	臨床実習における症例検討などのデータ作成
その他	複合機(DocuCentre II C3300PFS)	1台	臨床実習における資料作成
その他	臨床データ統計処理用端末 (VGN-G1KBN)	1台	講義資料作成
その他	ノートパソコン(2.16GHz Intel Core2Duo)	1台	講義資料作成
視聴覚用機械	パソコン(MacBook 2.1GHz Intel Core 2 Duo-White)	1台	講義・実習資料作成
視聴覚用機械	学術画像参照用端末(MB324J/A-D)	1台	講義・実習資料作成

## 成績評価方法

臨床実習評価は以下の項目について100点満点で評価する。

1. 出席点:20点
2. 実習評価1(教員による学生評価シートⅠ):10点
3. 実習評価2(教員による学生評価シートⅡ、症例レポート、経過表・カルテ記載、ポリクリ感想):20点
4. 実習初日試験:25点
5. 国家試験問題形式の口頭試問:25点